

りそな一れ

5

2025
May

特集

組織変革のコミュニケーション戦略

認知科学から学ぶビジネスコミュニケーションの本質
組織を活性化させる「社内コミュニティー」構築法



TOPの決断

技研電子株式会社 **高木 健氏**

「社会のインフラを支える私たちの仕事で、『効率と無事故のどちらを優先するか』と言えば、もちろん無事故。もし事故が起きても、大事には至らせない」

講演録

日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 エバンジェリスト **西脇資哲**

「AIに仕事を奪われることはありません。AIを使いこなしている人に奪われます。
AIを使いこなしているライバル企業に奪われます。ぜひAIを使いこなす側になってください」



りそな総合研究所

RESONA



技研電子株式会社
代表取締役

高木 健氏

TAKAGI Ken

2016年4月



当時、最新のICTをご案内し、お客さまに最適
のコミュニケーションシステムを
ご提案するため、営業推進本部を設けました。

写真／高田ますみ (P3、P6下)

各種情報通信システムの設計・施工・試験調整・保守等の技術サービスをメインに、ドコモショップの販売代理店運営や法人向けのモバイルソリューション提供も行うなど、高い専門性を生かした事業を展開しているのが技研電子だ。社会基盤である情報通信の円滑な運用と安全の整備に長年携わり、「インフラの重大事故を絶対に起こさない」を合い言葉に実績を積み重ね、顧客から大きな信頼を勝ち取っている。

聞き手／りそな総合研究所前代表取締役社長 米谷高史

——1965年(昭和40)、日本電気(NEC)の大阪支社が法人のお客さまに納品された無線設備の、保全専門会社として設立されたとお聞きしました。

高木 そうです。通信設備の現地調整試験と保守の仕事をいただいたのが始まりです。実は設立には前段がありまして。1945年に私の祖父が高木電気工業所(現・タカギエレクトロニクス(株))を設立して電話工事の仕事を始め、その後、父が経営を受け継いだのですが、父の代の63年にNECさんの販売特約店になったのです。それが当社の創業につながりました。

当時は日本電信電話公社(現・日本電信電話(NTT))さんが、国の外郭団体として電信電話業務を一括担当され、NECさんはその業務に必要な各種機器のメーカーとして、業績を伸ばしておられたのです。

事故を起こさない工夫を積み重ねて顧客を広げ、保全業務から設計・施工へ業容を拡大

——では御社も順調なスタートを。

高木 いえ。軌道に乗るまでしばらくかかりました。常にハイレベルな仕事ができるようNECさんに徹底的に鍛えられまして。

——何が1番大変でしたか。

高木 通信設備には、網の目のように広がる

回線、要所にある中継機や交換機、信号の制御機器、電力機器、各種センサーなどが、複雑に組み合わさっています。ですから例えば「回線の寸断」は、物理的・化学的なトラブルで起きるだけでなく、人間の誤操作でも起きる。もし通信設備の工事や保守作業で大きな問題が起きて、既存のネットワーク全体に影響が出るようなことになれば、多くのお客さま、回線の利用者さまに、多大なご迷惑をかけてしまいます。

「インフラの重大事故を絶対に起こさない」を全員で肝に銘じ、NECさんのご指導に加



防災行政無線のアンテナ点検



防災行政無線の設備点検

え、当社独自に事故を起こさない工夫を積み重ねました。やがてNECさん以外のお客さまからも仕事をいただけるようになり、システムやネットワークの設計そして施工へ、徐々に業容を広げました。

「ちよつと鈍感で誠実な人」も、企業の人材として大切であると証明してくれた社員がいる

——事業拡大での技術者育成には、ご苦労も多かったのではありませんか。

高木 おかげさまで、お客さまに恵まれて経験を積み、優秀な人材が育っています。インターネットの登場以降は、入社1年目の現場へ出る前の社員に、まずネットワーク技術者に必要な基礎的資格を取らせています。

ただ近年思うことがあります。仕事の間や学びの場で特に若い人が、「コスパ」とか「タイパ」といった言

葉をよく口にするようになりました。でも「何もかも効率優先で良いのか」と疑問に感じるのです。課題をどんなに成し績を向上させる人材が育つことは、企業にとって素晴らしいことですが、人の評価はそれだけでは決まらないのです。法隆寺の大修理や薬師寺伽藍の復興を手がけた宮大工として有名な、西岡常一さんはこう語っています。

〈初め器用な人はどんどん前へ進んでいくんですが、本当のものをつかまないうちに進んでしまうこともあるわけです。だけれども器用な人は、とことんやらないと得心ができません。こんな人が大器晩成ですな。頭が切れたり、器用な人より、ちょっと鈍感で誠実な人の方がよいですな*〉

私自身が経験したことです。1995年（平成7）の阪神淡路大震災の時です。すぐに水や食糧をお客さまの会社と当社の社員の自



監視カメラの設置

宅へ運ぼうとしたのですが、道路が寸断されていてなかなか行けなかった。何日もたつてようやくあるお客さまの工場へたどりつくと、担当者の方が「おたくの社員のA君に本当に世話になった」とおっしゃるのです。A君は自宅が被災していたのですが、担当者の方が工場へかけつけた時にはすでにA君がいて、応急修理を始めていた。担当者の方は私に「この先もずっと工場のことを頼むからよろしく」とおっしゃいました。

A君は決して優秀な技術者ではありません。ただ仕事ぶりはまじめで、日頃からお客さまの信頼を得ていた。まさしく「ちょっと鈍感で誠実」なA君が、震災の時に真価を発揮して、当社への評価をこの上なく高めてくれたのです。

社会のインフラを支える私たちの仕事で、「効率と無事故のどっちを優先するか」と言えば、もちろん無事故。もし事故が起きても、大事には至らせない。私どもは「進むのは遅いが、とことん仕事を成し遂げる人」も大切な人材として育てます。

営業推進本部を新たに設置し、組織をより活性化して全国で機動的に事業を展開

2007年に社長に就任されました。情報通信技術の進化は加速する一方です。今日に至るまで、ビジネス戦略に関して新たなこ



ネットワーク技術者資格取得のための新入社員研修

決断もあつたのではありませんか。

高木 私どもは創業からしばらくすると、専門技術者集団として高い評価を得られるようになりました。次々と

依頼が入り、営業部門を置く間もないまま仕事をこなす毎日でした。でも私が社長になって、日進月歩の技術とサービスを的確にお客さまに役立てていただくには、営業部隊が必要だと考えるようになりました。そこで最新のICTをご案内し、お客さまに最適なコミュニケーションシステムをご提案するため、2016年に営業推進本部を設けました。

効果はいかがでしょう。

高木 組織が一段と活性化しました。営業活動を開始したこの年に、電力小売りが全面自由化されたことも追い風になりました。電力が地域を越えて供給できるようになり、各地の電力会社さんが関東の巨大市場獲得に動き始



本社オフィス(大阪市)

**時代の変化を恐れず、
常にチャレンジ精神を持って、
社会に貢献する事業の拡大を目指す**

めた。当然、関東の電力会社さんも各地の市場獲得に動かれたのですが、その問題になったのが、進出先でネットワーク構築を任せる地元業者の選定でした。当社の営業マンが「弊社は関東・関西・名古屋・福岡など各地に拠点を持ち、東京と同じレベルで、設計から施工・試験調整・保守まで、すべて承ります」とご説明すると、「それなら、関東から各地に向けて一気通貫でやれる」と非常に喜ばれました。

電力会社さんからの依頼は全国で増えていて、例えば発電所関連施設の入退室カードシステムなど、セキュリティ設備の工事・保守・更新を数多く受注しています。

—— 今後の事業展望をお聞かせください。

高木 情報通信ネットワークは、多様なツールを通じて社会の隅々へ浸透しつ

りそな総合研究所
前代表取締役社長 米谷高史



つあり、それを支える仕事の領域は広がる一方です。当社はそうしたニーズの多様化に合わせて、設計・施工と安定運用のための保守業務を、今後とも伸ばしていけるとしています。

最近、社会インフラの別の分野での装置開発と販売を始めました。当社独自の商品「挿入式超音波流量計」。水道管の老朽化で道路の陥没事故が各地で起きていますが、その防止に役立つ超音波を使った水漏れ検知システムです。

当社の経営理念の第1は「社会に貢献する経営」。時代の変化を恐れず、社員一同常にチャレンジ精神を持って、皆さまのお役に立つ事業を増やしていきたいと思っています。

—— 社会のインフラを安全で快適なものにする専門家集団として、ますます力を発揮されることを期待しております。

🎤 interview後記

トランプ関税による嵐が吹き荒れ、株価や為替がかつてないほど乱高下する毎日。お伺いした西岡常一さんの言葉「ちょっと鈍感で誠実」を米国に聞かせたい。せめて、私たちはこういった日本の価値観をしっかりと伝えていく必要があると改めて感じています。

(米谷)

PROFILE

- 設立 1965年(昭和40)3月
- 資本金 30百万円
- 従業員数 332名
- 事業内容 通信ネットワークインフラの設計・施工・現地調整・保守及び携帯電話の販売代理業等
- 所在地 〒541-0041
大阪市中央区北浜4-7-19 住友ビル3号館
TEL 06-6229-6010
FAX 06-6229-6020
URL <https://www.gikendenshi.jp>
- 取引店 関西みらい銀行本町営業部

* 米谷高史は2025年3月りそな総合研究所代表取締役社長を退任し、同4月新たに甲賀一隆が代表取締役社長に就任いたしました。